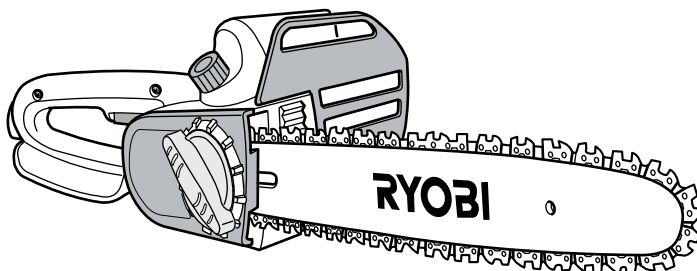


# RYOBI

## チェーンソー (フレーキ付)

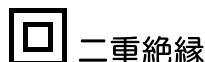
CS-362FS  
CS-402FS

# 取扱説明書



### もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 6
■各部の名称・仕様	7
■付属品・用途	8
■別販売品	8
■操作方法	8~12
■切断作業	12~15
■保守と点検	15~16



このたびは、リョービチェーンソーをお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、  
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう  
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

# 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
  - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
    - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
    - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
  - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

# 警告

6. 無理して使用しないでください。
  - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

# 警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。  
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

## 警告

### 23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつけてください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

# チェーンソーご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、チェーンソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

## 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。
  - ・感電の恐れがあります。
3. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - ・本体がはね返り、けがの原因になります。
4. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
  - ・けがの原因になります。
5. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
  - ・けがの原因になります。
6. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
  - ・本体がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。
7. 使用中は、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
8. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. （事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。  
（関連法令：労働安全衛生法 第59条3項、安全衛生特別教育規程 第10の2、労働安全衛生規則 第36条8号の2）

# ⚠ 注意

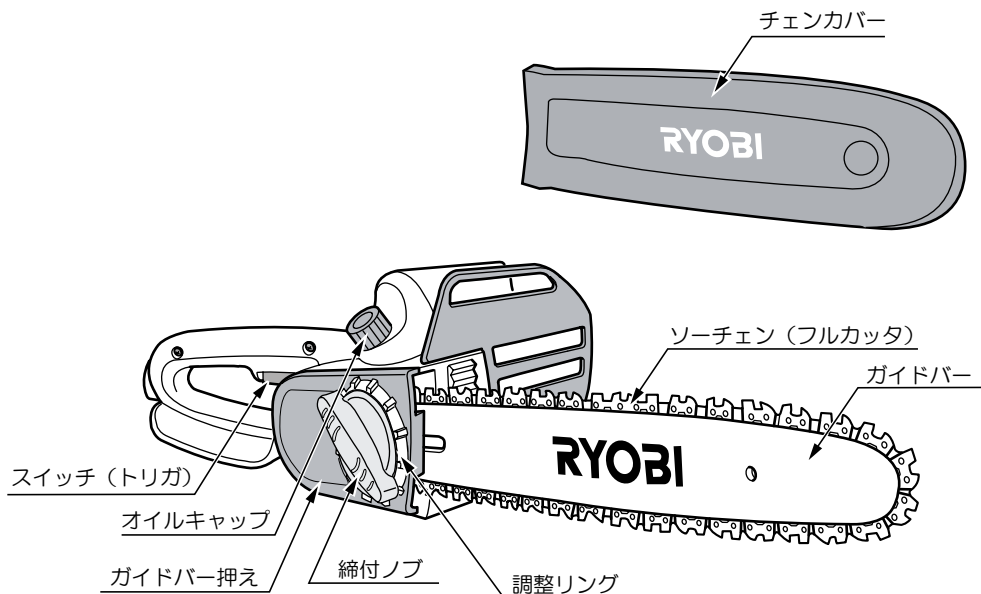
1. 工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。
2. ソーチェンなどでコードを切断しないように注意してください。  
万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・感電の恐れがあります。
3. 使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、ソーチェンがむき出しにならないようにして、子どもの手の届かない所に保管してください。
  - ・けがの原因になります。
4. スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
  - ・本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
5. 材料に石、釘などの異物が入っていないことを確認してください。
  - ・ソーチェンが石などに当たると、けがの原因になります。
6. 切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。
  - ・けがの原因になります。
7. 切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
  - ・ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。
8. 本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。
  - ・けがの原因になります。
9. 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。
  - ・けがの原因になります。

(注) 延長コードは、出来るだけ太く短い工業用のキャブタイヤコードを使用してください。長すぎる延長コードは電圧の降下により、十分な性能が発揮されないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。  
ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧の降下や火災事故を防止するために、コードをすべて引出して使用してください。

導体公称断面積	使用できる最大長さ
1.25mm <sup>2</sup>	15m
2.0mm <sup>2</sup>	30m

# 各部の名称・仕様

## ●各部の名称



## ●仕様

モデル	CS-362FS	CS-402FS
電源	単相・交流100V 50/60Hz	
定格電流	12A	
消費電力	1,150W	
チェンスピード	9.5m/s	
有効切断長さ	360mm	400mm
ソーチェン (フルカッタ)	91F-52(ピッチ3/8")	91F-56(ピッチ3/8")
コード長さ	2 m	
機体寸法 (長さ×幅×高さ)	684×207×173mm	727×207×173mm
質量	3.0kg	3.1kg
絶縁方式	二重絶縁	
振動3軸合成値* EN60745-2-13に基づき測定	3.2m/s <sup>2</sup>	3.1m/s <sup>2</sup>

※『3軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>



# 付属品・用途・別販売品

## ●付属品

- ・チェーンオイル 50ml ..... 1
- ・ソーチェン（本体取付） ..... 1
- ・ガイドバー（本体取付） ..... 1
- ・チェンカバー ..... 1

## ●用途

- ・木材の切断

## ●別販売品

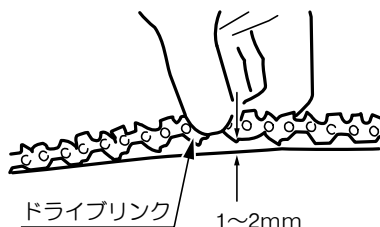
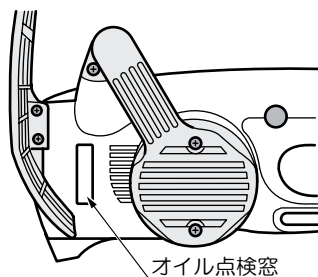
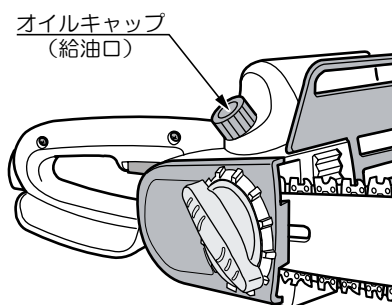
- ・丸ヤスリ 4mm
- ・チェーンオイル（100ml）
- ・チェーンオイル（1000ml）
- ・デブスゲージジョイント
- ・平ヤスリ
- ・チェンソーシャープナ

# 操作方法

## ●ご使用前の準備

- ・オイルタンクの給油口から付属品のチェーンオイルを給油してください。チェーンオイルはリョービ純正のチェーンオイルまたは、市販のチェーンオイル、エンジンオイル(夏場：SAE30、冬場：SAE10)でゴミなど異物が混入していないものをご使用ください。
- ・オイルタンク内のオイル残量の確認は本体モーターケース側の点検窓で行なえます。オイル点検窓からオイルが見えなくなりましたら残りわずかですので、補充してください。
- ・本機は、スイッチをいれるとソーチェン、ガイドバーに自動的にチェーンオイルが給油されます。

- ・ソーチェンの張り具合を確認してください。確認方法はガイドバーの中ほどでソーチェンを軽く指で引上げ（本体が浮かない程度）、ドライブリンクの底がガイドバーから1～2mm離れる程度が最適です。調整が必要な場合は、ソーチェンの調整（P9～10）の要領で行なってください。



# 操作方法

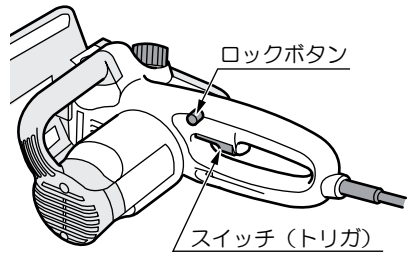
## ●スイッチの扱い方

### ⚠ 警告

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

(注) 両手でハンドルを保持してからスイッチを入れてください。

- ・スイッチ操作は、ロックボタンを押した状態でトリガを引くと入り（セフティスイッチ）、放すと切れます。周囲に十分注意してスイッチを入れてください。
- ・スイッチを切るとソーチェンがすばやく停止するブレーキ付となっています。



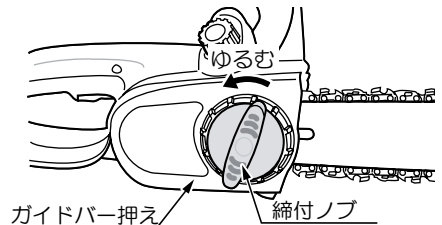
## ●ソーチェンの調整・交換

### ⚠ 警告

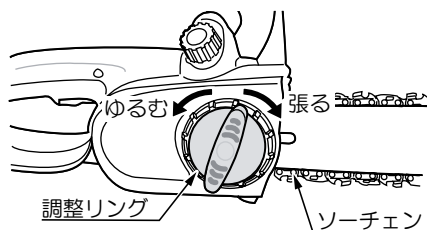
- ・ソーチェンの調整・交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ソーチェンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。誤った取付け方をするとガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。
- ・ソーチェンは仕様に明記してある正しいタイプのもを使用してください。誤ったタイプのソーチェンを取付けるとガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

(ソーチェンの調整)

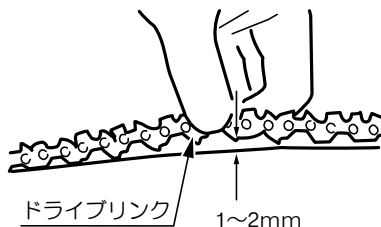
1. 締付ノブを手で左に回してゆるめます。  
(1.5～2回転位)



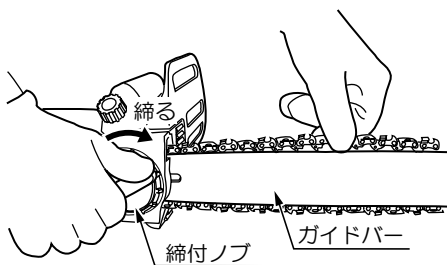
2. 調整リングを回してソーチェンの張りを調整します。調整リングを右に回すとソーチェンは張ります。ソーチェンを軽く引上げながら調整リングを左に回すとゆるみます。



3. ソーチェンの張り具合を確認します。ガイドバーの中ほどでソーチェンを軽く指で引上げ（本体が浮かない程度）、ドライブリンクの底がガイドバーから1～2mm離れる程度に調整します。



4. 調整後はソーチェンを上側に持ち上げながら、締付ノブを手で右に回して強く締付けてください。



(注) ソーチェンの調整は、ソーチェンが張る方向（右）に調整リングを回して行なってください。

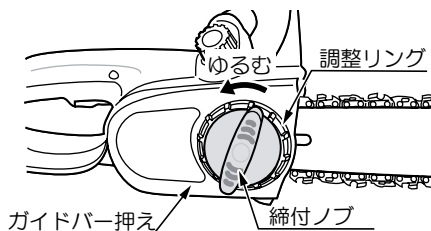
張り過ぎたときも、一度ソーチェンをゆるめてから再度ソーチェンの張り方向で調整してください。

(注) 新品時のソーチェンは多少の伸びがありますので、少し使用ののち、点検をしてください。必ず電源コンセントから電源プラグを抜いて調整を行なってください。再調整の必要な場合は、前述1～4の要領でソーチェンの張り調整を行なってください。

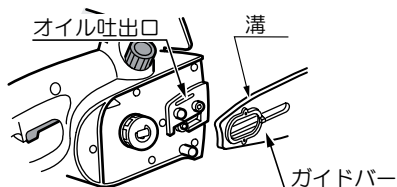
# 操作方法

## (ソーチェーンの取外し)

1. 締付ノブを手で左に回して外し、ガイドバー押えを取外しますと、ガイドバー、ソーチェーンは簡単に外せます。



- (注) ソーチェーンの取外しの際には、オイル吐出口、ガイドバー溝およびその周辺の切粉を取除いてください。切粉などがたまっていきますと故障の原因になります。

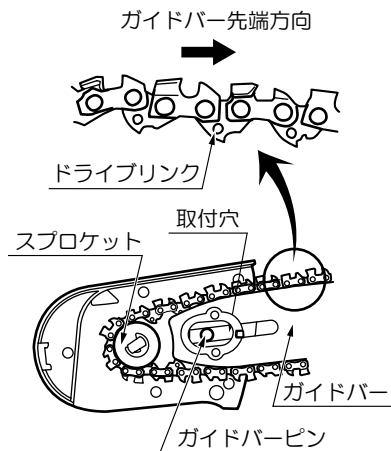


## (ソーチェーンの取付け)

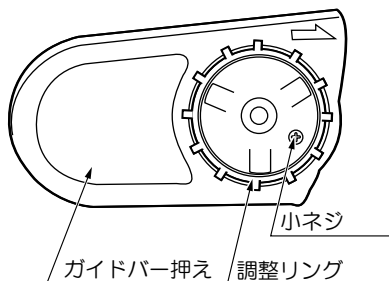
1. ガイドバーの溝にソーチェーンのドライブリンクを入れセットした後、スプロケットにドライブリンクを入れてください。

(注) ソーチェーンの刃の向きに注意してください。

2. ガイドバーの取付穴にガイドバーピンを合わせてソーチェーン、ガイドバーをセットします。
3. 調整リングの小ネジを右図の位置に合わせガイドバーを押えた状態でガイドバー押えをはめ、締付ノブを取付け軽く締付けてください。

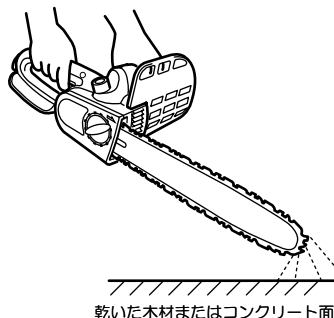


4. 「ソーチェーンの調整」1~4の要領でソーチェーンの張りを調整します。

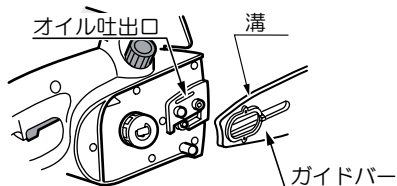


## ●オイル吐出確認

- ・スイッチを入れ、右図の様にオイルが出ていることを確認してください。



- ・2～3分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口周りに切粉がたまっていないか確認し、ガイドバー溝およびその周辺の切粉を取除いてください。



## 切断作業

### ⚠ 警告

- ・使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。本体がはね返り、けがの原因となります。
- ・ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。本体がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。
- ・使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・肩の高さより高い位置で使用しないでください。けがの原因になります。

### ⚠ 注意

- ・スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
- ・切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。
- ・切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ガイドバーがはさみついたらけがの原因になります。

(注) 無理に押しついたり、切断中にこじたりすると機械各部の故障の原因になります。無理なく、まっすぐに切断してください。

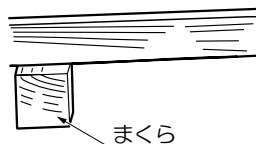
(注) プレーキ付モーターのためスイッチを切った時に、モーターケース後部で火花が見えることがありますが異常ではありません。

# 切断作業

- ・正しい使い方をマスターしてください。  
1～2本切ると上手に出来ます。
- ・切断を行なう前にソーチェーンの張り具合及び、チェーンオイルが出ているか確認してください。

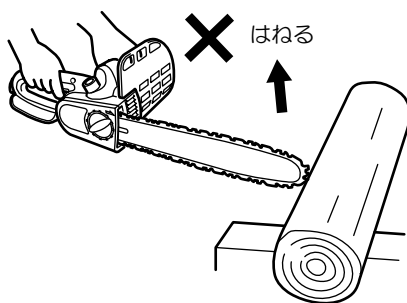
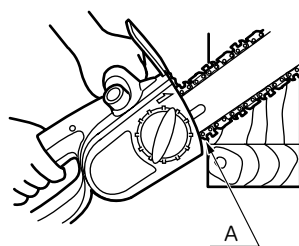
1. 切断材の下にまくらを敷き、地面から出来るだけ離して固定してください。

(注) 地面に近すぎますと、切断後地面にソーチェーンが当たり、ソーチェーンを傷付けるだけでなく、小石などをはね上げ危険です。

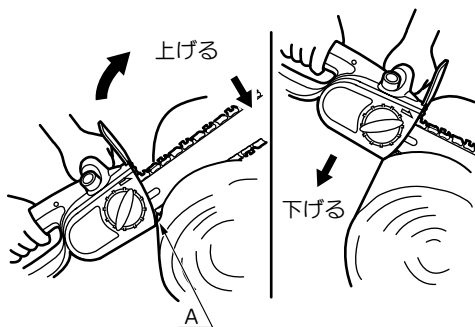


2. スイッチを入れてソーチェーンのスピードを上げた後、ガイドバーのつけ根付近（右図A部分）を切断材に静かに当ててください。

(注) 先端切りは、はね上がり、安定した作業ができませんので危険です。必ずガイドバーのつけ根付近で切断してください。



3. 大きい材料の場合は、ガイドバーのつけ根付近（右図A部分）を支点にテコ運動をしながら切断してください。

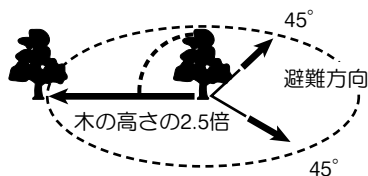


## ●伐木作業（樹木を伐り倒す作業）

### ⚠ 警告

- 伐木作業（樹木を伐り倒す作業）や造木作業（伐り倒した樹木を切断する作業）を行なうときは、法、規則で定める特別教育（講習）を受けたり、お買い求め先に相談するなどして適切な指導を受けてください。
- 伐木作業を行なうときは、必ず二人以上で作業を行なってください。

1. 伐り倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し、倒す方向、避難する方向を決めます。

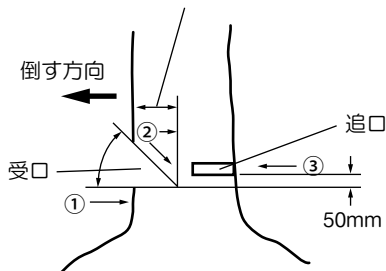


2. 伐り倒す木の周囲の障害物を取除き、足場の安全を確認します。伐り倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください

○ = 木が倒れる範囲

3. 図に示すように伐り倒す方向に直径の1/3程度の切込みを①、②の順に入れ受口を作ってください。

木の直径の1/3



4. 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口を切込んでください。

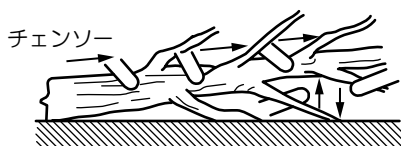
5. 追口の切込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、追口よりチェーンソーを離し、スイッチを切り、その場にチェーンソーを置いて避難してください。

6. 木が所定の方向に倒れそうもない場合やソーチェン、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、ソーチェン、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

# 切断作業

## ●枝払い作業

- 1.倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切落としてください。
- 2.幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切落としてください。



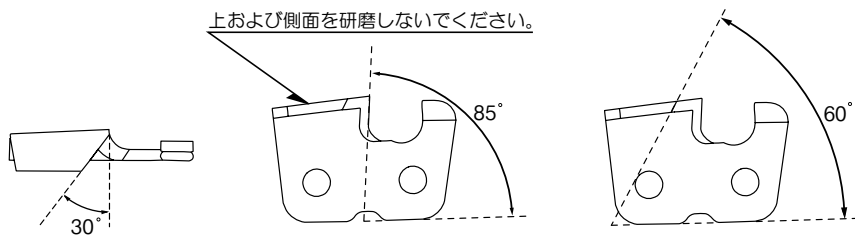
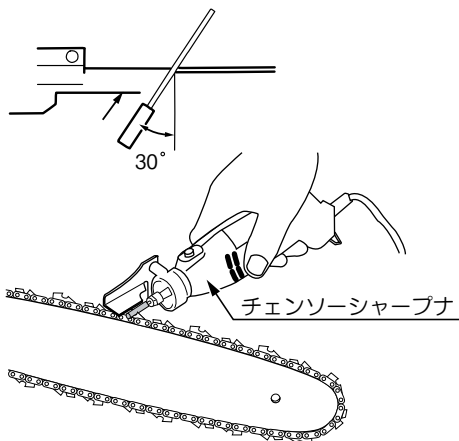
# 保守と点検

## ⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

## ●ソーチェーンの目立

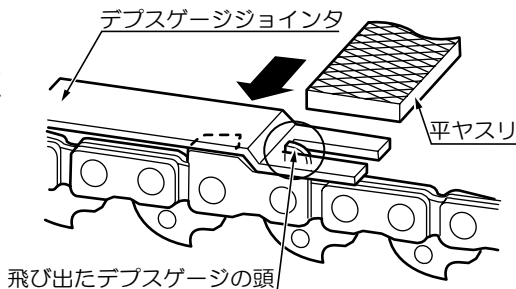
- ・目立は自分でできます。別販売品の丸ヤスリ（4mm）またはチェーンソーシャープナで左右のカッタの角度に注意し、目立をしてください。（右図）  
仕上げ角度は、下図のようにするのが理想的です。





### (デブスゲージジョインタ)

デブスゲージジョインタをソーチェンの上にかぶせます。デブスゲージが高すぎる場合には溝からデブスゲージの頭が出ます。溝から出ている部分を平ヤスリで削り落とし、適切なデブスゲージ高さに調整します。



## ●各部取付けネジの点検

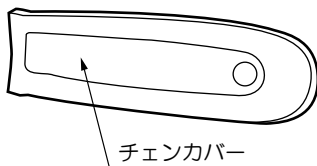
- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

## ●使用後の手入れ

- ・使用後はソーチェンを回転させ、油を十分まわしておいてください。
- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・使用後は、ガイドバーの溝、オイル穴およびその周辺の切粉を取除いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

## ●作業後の保管

- ・作業後は、ソーチェンがむき出しにならないようにチェンカバーを取付けてください。
- ・使用後に機械ガイドバー部やオイルポンプのチューブ内のチェンオイルが流れ落ちることがあります。ビニールを敷くなどして周囲を汚さないように注意してください。
- ・オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、オイルキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。横にして保管した場合、オイルが漏れます。
- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。



## ●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし、正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>